

新山協ニュース

新潟県山岳協会ホームページ <http://niigata-ksk.sakura.ne.jp/00home/00home.html>

会長 森 庄一
TEL 0258-72-2710

事務局 佐藤 博
新潟市江南区亀田水道町1-1-31
TEL. 025-381-8141

会報編集委員会代表
遠藤俊一
新潟市西区青山1-13-28
TEL 025-265-4181

**少年男子 リード3位、
ボルダリング5位と健闘！**

競技委員会

成年女子

（成年男子監督 竹
けての課題としたい。

次の競技者がスタートするのではなく、ルートの課題設定

10月1日（日）～3日（火）
石鎚クライミングパークにおいて第72回国民体育大会山岳競技が終了した。

卷之三十一

はフリー参加の成年男子を含めて4種別フルエントリーで臨んだ。

〔成年男子〕

成年男子はフリー参加のため、各県代表の47チームが出場した。1日はボルダリングの予選。南雲がボーナスを6個、久貝が4個に届くものの4課題完登なしで32位に終わった。

2日、リード予選。南雲が22手までと苦戦する中ボルダリングで苦波を飲んだ久貝が気を吐き25手まで高度を稼いだ。しかし結果は24位と上位

専門気といつた国体ならではの特殊な環境でのクライミングで、選手個々のパフォーマンスは發揮出来なかつたようだ。それと南雲は現在に感じた。久貝は肩手術の仕事の関係、久貝は肩手術のブランクによる、圧倒的な練習不足が今回の結果に直結したと考えられる。ボテンシャルは高く、練習不足が補えれば、もつと上位に行けるのである。次年度の国体に向

と予想以上の難しさで、結果片桐がボーナスを二つ、瀧澤が一つとれたのみであった。成年女子全体をみると予選1位の東京都でさえ4完登（一人が全部完登すると8完登）という難しさであったため、完登はなかったものの14位となることができた。

とでボルダリングに統いて決勝進出を果たすことができなかつた。結局予選は完登者がでないという難しさであつた。

今後クライミングのレベルが上がるなどを考えるとますますこの傾向が強くなることが予想される。また、使用するホールドについても今後は対策が必要になることを感じた。リードクライミングで使

ド競技の予選が行われた。

て感じたのは次の競技者が呼び出されるのがすごく早いと

成年女子

流れの速さが異なる。新潟県

用したホールドが以前のよう
な細かいホールドではなく、
ボルダリングの大会で使用す
るような大きな張りほてのよ
うなホールドを多様したルー
トになっていたためである。
今後はそのような課題を登る
機会を増やす必要があるだろ
う。

れた決勝は、2人とも登りが硬く、不完全燃焼ではあつたが、何とか、チーム順位3位を死守した。

が、完登には至らず、結果、1完登、3アテンプトで終了した。しかし、1位から4位までが2完登だったため、予選順位の5位を守った。

高難度課題を完登出来るボルダーラインを付けることが求められる。

が下部の核心を超えた安定期となりで完登した。江塚が下部の核心部を超えたものの少し遠目の1手でフォールし結果10位となつた。

用したホールドが以前のよう
な細かいホールドではなく、
ボルダリングの大会で使用す
るような大きな張りほてのよ
うなホールドを多様したルー
トになつてゐたためである。
今後はそのような課題を登る
機会を増やす必要があるだろ
う。

2日のボルダリング予選、
1課題を渡辺、2課題を田中
が共に一撃し、最高のスター
トダッシュとなつた。3、4
課題は、3課題が非常に難し
い。

れた決勝は、2人とも登りが
硬く、不完全燃焼ではあつた
が、何とか、チーム順位3位
を死守した。

1完登、3アテンプトで終了
した。しかし、1位から4位
までが2完登だったため、予
選順位の5位を守つた。

個々の選手については、田
中は、直前の練習で調子が上
がらず、心配したが、エース
としての存在感を見せてくれ

【少年女子】
少年女子は中学3年生コンビでのえひめ国体出場で、1日にリード競技予選、2日にボルダリング競技の順番で予選が行われた。

が見られた。オブザベーショ
ン後の打ち合わせでは比較的
登り易い課題であることから
完登数の勝負になるだろうと
話しあい、栗田が4完登、江
塚が2完登を目標に競技に

(成年女子監督 今井治一)
【少年男子】
少年男子は1日にリード競
技の予選、決勝、2日にボル
ダリング競技の予選、3日に
課題の難度がかなり高く、1
結果、4完登、6アテンプト、発揮してくれたと思う、特に
5位で予選を通過した。
ボルダリング予選では、2完
登と大活躍だった。

ボルダリング競技の決勝が行われた。課題は、2人共2手目が止まらない。2課題は、遠いゴーチームワークが非常に良かつ

今年の少年男子は、3年連 ルヘランジ、ランジの体勢に たことがミスを防ぎ、その結果

統出場の高校2年田中と初出なることも難しく、時間は果、大きく崩れることがな

場の中学生3年渡辺のペアで臨
刻々と経過する中、田中が残
かつた。

リード競技の予選では、人気投票で3位に立った結果は、物足りない。二三を心地静かに走り、走る二三を中心とした走りで、見事リード3位。ボルタリングも上手で、内側の走りも上手で、見事リード3位。

冷蔵庫に手を無く登ることを心にシを止めで完登場内苦れ5位の結果は物足りないと掛けた結果、田中はゴーレ落んばかりの大歓声に包まれた。思われるかも知れないが、蓋

の4位タイ、誠辺は、上部3課題、4課題もかなり高

核心の11位タイ、チーム順位 難度設定と思われた、それで 良くやつたと思う。

3位で予選通過、理想的な滑り出しどとなつた、同日に行わ
も可能性の見える3課題を2人で集中的にトライを重ねた
今後の課題としては、今回のボルダリング決勝のような

高難度課題を完登出来るボルダー力を付けることが求められる。

最後に、応援して下さった、遠目の1手でフォールし結果協会関係者の皆様にこの場をかりて御礼申し上げます。

(少年男子監督 田中 勉)

【少年女子】

少年女子は中学3年生コンビでのえひめ国体出場で、1日にリード競技予選、2日にボルダリング競技の順番で予選が行われた。

1日のリード競技は、14番目と遅い順番だったため集中力が切れないかを心配したが二人とも時間を見て小林トレーナーに教えてもらつた準備運動をしつかり行うことでき時間を有効に使うことができた。

オブザベーションでは下部に核心部がありそれを超れば上部まで行けると予想して、下部の攻略を相談し競技に挑んだ。競技に入るとまず栗田

江塚が下部の核心部を超えたものの少し登りで完登した。江塚が下部の核心部を超えたものの少し登り易い課題であることから完登数の勝負になるだろうと話しあい、栗田が4完登、江塚が2完登を目指して競技に入つた。

まずは栗田が1、2課題を完登し江塚も2課題目にトライして見事完登した。残す江塚の1課題目であるが、取り付きのスタートからいきなりランジで飛ばなければならぬ課題でかなり体力を消耗する設定になつていた。ランジは止まるもののそこからがきつく完登に至ることができない

を走ってボーナスに飛びつく課題で二人ともタイミングと勢いが足りずトライ回数を重ねるもののが完登することができなかった、江塚が4課題目をボーナスまでいくことができた。次に栗田が4課題目をトライし完登して終了し合計4完登で11位となった。

2競技とも決勝進出までは行けなかつたが上位チームとそれほど差はなかつたように感じた。リード競技は課題の難易度が12c dだったということで完登するには日頃12dから13を登る練習をしないと完登は厳しいルートだった。

ボルダリングは3課題目のようなコーディネーションの課題にもつとなれないとこれからこの課題に対応できなくなる可能性があるので、これらは意識してそういう課題に取り組む必要があるだろう。

(少年女子監督 栗田陽輔)

石澤先生は元新潟大学理学部生物学科教授で、現在は積

会・親睦登山は、10月14、15の両日阿賀野市出湯において開催された。座学及び宿泊を出湯自然養生園にて行い、五頭山間を縦走した。14日午後3時開会、坂野自然保護副委員長の司会のもと、森庄一會長、宮崎総務委員長、伊藤自然保護委員長が挨拶し、亀田山岳会田村健氏が講師石澤進先生の紹介を行つた。

2競技とも決勝進出までは行けなかつたが上位チームとそれほど差はなかつたようになつた。リード競技は課題の難易度が12c dだったという以上の方は日帰りであつた。

会場となつた出湯自然養生園は、旧朝日村三面地区にあつた茅葺き民家を移設したものである。

今年度の秋季自然保護研修会・親睦登山は、10月14、15の両日阿賀野市出湯において開催された。座学及び宿泊を出湯自然養生園にて行い、五頭山間を縦走した。14日午後3時開会、坂野自然保護副委員長の司会のもと、森庄一會長、宮崎総務委員長、伊藤自然保護委員長が挨拶し、亀田山岳会田村健氏が講師石澤進先生の紹介を行つた。

今年度の秋季自然保護研修会・親睦登山は、10月14、15の両日阿賀野市出湯において開催された。座学及び宿泊を出湯自然養生園にて行い、五頭山間を縦走した。14日午後3時開会、坂野自然保護副委員長の司会のもと、森庄一會長、宮崎総務委員長、伊藤自然保護委員長が挨拶し、亀田山岳会田村健氏が講師石澤進先生の紹介を行つた。

第66回自然保護研修会・親睦登山報告

自然保護委員長 伊藤直

今回の講演テーマは「五頭連峰の植物」、以下に講演概要を記します。

五頭山塊は標高も低く日本海にも近いため、暖温帯植物

雪地域植物研究所所長としてユキツバキなど雪国の植物を中心精力的な研究活動を行つて行つて、脚を悪くされ近年はフィールドワークが行な難くなつていて、お聞かが暖温帯植物（新潟県が北限）としてイタビカズラ、アカガシ、ウラジロガシ、ソヨゴを取り上げられた。日本海

要素植物として、樹木ではユキツバキ、タムシバ、オクチヨウジザクラ、タニウツギなど、草本ではホクリクネコノメ、コシジシモツケソウ、オオバキスミレ、イカリソウを取り上げられた。ユキツバキとヤブツバキの違いについて詳しく説明された。ユキツバキは花弁幅が小さく、オシベが平開、花糸が黄色（ヤブツバキは白い）などなどの違いがある。

(石澤講師)



なる種が幾つかあるが、コシ

ヒメサユリと生息域がよく重

ALways Security OK
ALSOK

新潟綜合警備保障(株)

〒950-8633 新潟市東区小金町1-17-20
TEL 025-274-1965 FAX 025-271-3445

魚沼の里

www.uonuma-no-sato.co.jp

魚沼の里
八海山

www.hakkaisan.co.jp

ジシモツケが最もよく重なっている。イカリソウには、トキワイカリソウとキバナイカリソウがあり、五頭で見かけたらどちらか見て欲しい。タニウツギは関東には無く、オオバキスミレは全国的に珍しい（黄色いことが）種であるという。ホクリクネコノメはオシベが黒い（花粉が黒い）ことが特徴である。五頭連峰における分布北限種としてナツバキ、稀産種としてミヤマフユイチゴがある。

北方系植物として、シダ植物のシラネワラビ、木本のミネカエデ、ムラサキヤシオ、

湿地のツルコケモモ、草本のオオバヨツバムグラ、ミタケスゲを取り上げられた。シラネワラビは「ノ峰において見られ、葉形が三角形のこと

が特徴、ミネカエデは標高

1500m以上に生えている

ものが五頭山にもわずかある。ムラサキヤシオは花が横

向きに咲き左右対称であるの

→ 五頭にあって昔名にな

が特徴である。オオバヨツバ

ムグラはエゾヨツバムグラで

ある可能性があるとのこと

で、今後調査していきたいと述べられた。

その他、エゴノキ属（エゴノキとハクウンボク）の五頭連峰と新潟県における分布の違い、磐神村岡地域の水生植物などについて述べられ、最後にイカリソウ、ヨツバムグラなどについての情報を寄せた。

統いて質疑応答に入った。

↓ 五頭にカタクリ、ユキワリソウはあるか？

↓ ユキワリソウは無い

が、カタクリは一部にあ

る。ユキワリソウの無い

理由はよく分らない。

↓ 五頭の杉は天然杉か？

→ 幹の下方から枝が分かれているのは天然と見ていいだろう。

・隣の菅原山塊との植生の違

いはあるか？

・出湯自然養生園

整備、管理されて

が、理由はいまのと

今後調査していきたいと述べ

られた。

その他、エゴノキ属（エゴ

ノキとハクウンボク）の五頭

連峰と新潟県における分布の

違い、磐神村岡地域の水生植

物などについて述べられ、最

後にイカリソウ、ヨツバムグ

ラなどについての情報を寄せ

て下さいと講演を終えられ

た。

統いて質疑応答に入った。

↓ 五頭にカタクリ、ユキワリ

ソウはあるか？

↓ ユキワリソウは無い

が、カタクリは一部にあ

る。ユキワリソウの無い

理由はよく分らない。

↓ 五頭の杉は天然杉か？

→ 幹の下方から枝が分か

れてているのは天然と見て

いいだろう。

・隣の菅原山塊との植生の違

いはあるか？

・出湯自然養生園

整備、管理されて

が、理由はいまのと

今後調査していきたいと述べ

られた。

その他質問応答があつた

が、5時10分講演会を終了し

た。

焚いた囲炉裏をテーブルで

囲み、阿部信一前会長に挨

拶を頂き、懇親会

に入つた。参加者

10数名のこじんま

りとした宴だつた

が、美味しい豚

汁と議論で時は速

やかに過ぎていつ

た。翌日の五頭縦

走に備え、一部を

除き10時半頃には

就寝した。

↓ 五頭の杉は天然杉か？

→ 幹の下方から枝が分か

れてているのは天然と見て

いいだろう。

・隣の菅原山塊との植生の違

いはあるか？

・出湯自然養生園

整備、管理されて

が、理由はいまのと

今後調査していきたいと述べ

られた。

その他質問応答があつた

が、理由はいまのと

今後調査していきたいと述べ

られた。

フィールドワーク研修・親睦登山 菱ヶ岳・五頭山縦走

自然保護副委員長 坂野雅之

10月15日朝六時前、物音に
目が覚めると皆さんも起き出
していた。昨夜の豚汁を温め
て頂き、各自朝食を摂った。
毎回の事だが見附山岳会の井
口御夫妻には受付やら何かと
お手伝い頂き、朝食後のコ一
ヒーも振る舞つてもらい感謝
致します。出発前全員で掃除
した。

コースに取付いた登山者はいなかつたようだ。

拠は分からずだが、食は避けた方が良いと言われている。キノコ詰に花が咲き笹清水を越えて菱ヶ岳へ十時到着。肌寒い小雨が降り出し、少

し風も出てきたので雨具の支度をする。高田ハイクの七澤さんは懐かしいポンチョを着る。使い方次第では重宝する道具の一つだと思う。ガスつて何も見えない稜線をひたすら一ノ峰を目指して歩く。このコースは三十数年以來と思うが初めての山に入った感覚で

ある。与平の頭付近は雲の間から谷筋や付近の山並が見え隠れした。

昨日、石沢教授がナツツバキは五頭連峰が北限の樹木でミヤマフユイチゴは希産種と言つておられたので注意深く観察するが見分けがつかなかつた。一の峰で昼食を摂ることにした。風はあるが幸い稜線は風下であつた。三角点へ向かう年配の男性や若いベテラン組とすれ違つたり、数名の登山者には先に下りてもらつたりして三ノ峰のカマボコ

広く整備されている山道を行くと梯子は最近架け替えたのか新しく、県で管理しているとの事だ。ドングリの森キャンプ場は、朽ち果てた屋根の建物が目立つた。数年前にロシア領事館員がキャンプ中にこの沢で怪我した事から崖脇にフェンスが張られたそうだ。

当日参加の悠峰山の会朝妻さんを迎えて7時養生園を登山口へと出発した。朝妻さんが新潟から出る時は雨だったという。出湯は怪しい雲行きだが雨ではない。阿部前会長は所用のため帰つて行かれた。私共数名が会場入り口の自然保護のはりを回収しながら遅れて菱ヶ岳登山口に到着すると我が隊の他に二、三人登山者が居た。その他菱ヶ岳

先に行つたのではという事で、進むと供養塔付近での用足しだった。登り始めのベースが早すぎる原因是それかと全員納得の一場面であった。



(菱ヶ岳山頂)

平成29年度 第1回理事会議事概要

日 時 平成29年9月13日 (水) 午後7時～午後9時まで
場 所 さいわいプラザ（長岡市幸町2-1-1）
出席者 17名（役員26名中15名出席、過半数により理事会成立）
（顧問・参与2名出席）
開 会 会長挨拶

議事概要は以下の通り

1 北信越国体・えひめ国体について

北信越国体は全種目（成年女子、少年男子、少年女子）で2位以内の入賞を果たし本大会への出場を決めた。本大会である「えひめ国体」へは、予選のない成年男子を加えて全種目への出場となった。成年男子（監督：竹井康祐 選手：南雲純太・久貝悠太）成年女子（監督：今井浩二 選手：片桐麻由子・瀧澤倫未）少年男子（監督：田中勉選手：田中修太・渡辺颯海）少年女子（監督：栗田陽輔 選手：栗田湖有・江塚桜子）なお、愛媛には5名で応援に行く予定である。（今井副理事長）

2 新潟県山岳協会70周年記念事業「海外登山講演会」について

10月28日（土）新潟市万代市民会館において「新潟県山岳協会70周年記念・海外登山講演会」を開催する。講師には日本山岳会副会長である重慶恒夫氏、医学博士で日本山岳会員である橋本しおり氏である。すでに海外登山委員会を中心に準備作業を進めているところであるが、参加者200名を目指しているが募集については集約状況をみて再募集の強化を行う予定なので協力いただきたい。他に、講演会のスケジュールや翌日の講師との日帰り山行などの概要説明があった。（桐生海外登山委員長）

3 各委員会の前期活動報告・後期活動計画について

(1) 総務委員会

7月に「第64回弥彦山たいまつ登山祭・第60回高頭祭」を開催した。今後は「自然保護研修会・親睦登山」を10月に開催する予定である。また来年1月に開催する新年会は、70周年記念として日山協の八木原会長などに出席を依頼するかを検討。また、北信越5県にも案内するとともに各加盟団体の代表者から積極的に参加するよう案内する。（宮崎委員長）

(2) 指導技術委員会

前期は、日本山岳スポーツクライミング協会の指導委員総会兼研修会に出席した。また新発田市で開催した「岩登り講習会」には27名の参加者があった。後期は、2月に「冬山講習会」が予定されている。公認指導者登録更新のための義務研修について留意事項などの説明があった。（堀口委員長）

(3) 遭難対策委員会

7月に開催した「安全登山講習会」の参加者は18名だった。今後は10月に「第2回安全登山講習会・救急法講習会」を開催する予定だが「海外登山講演会」の翌日のため参加者の不足が懸念される。来年1～2月には新潟県山岳遭難対策協議会が開催予定。3月には「第3回安全登山講習会（残雪期）」を開催する予定である。（成海委員長）

2月の「冬山講習会」と3月の「安全登山講習会」は開催時期が接近していて講習内容も半分くらいは同じようだ。ひとつにまとめられないかとの質問があったが、それぞれの対象者や講習内容は異なっているので今年度は予定どおりに開催することとし、次年度以降に検討することとした。

(4) 自然保護委員会

「第65回自然保護研修会」を5月13~14日三条市下田で13名の参加で開催した。朝日連峰保全連絡会議、飯豊連峰保全連絡会議などに出席したほか、9月に石川県白山市で開催された日山協「第41回自然保護委員総会」に3名で出席した。

「五頭三ノ峰避難小屋荒廃対策」については、地域山岳会と阿賀野市や森林管理署（小屋は国有財産）と交渉を行っているが進展がみられない。今後は新潟県との交渉も検討しているが課題は多く前途多難である。

「第66回自然保護研修会・親睦登山」を10月14~15日に阿賀野市出湯で開催予定である。

新潟県・環境企画課自然保護係との懇談会は11月中旬に県庁で開催予定である。（伊藤委員長）

ほかに、参加者から五頭山の登山道の老朽化した階段の付け替えなどの整備に関する状況報告があつたほか、尾瀬サミット2017に出席した概要報告などがあった。

(5) 競技委員会

前期の報告として、4月に開催された「第20回新潟カップ（国体県予選・ジュニア強化指定選手・JOC選手選考会を兼ねる）」や7月の「小学生クライミング大会」のほか「北信越国体」の開催状況などが報告された。後期は10月の「えひめ国体」への参加、北信越ブロック研修会の開催などが予定されている。

また、来年には北信越国体が新潟で開催されることになっている。しかし会場がまだ正式に決まっていない。現状では妙高市の体育館を第一候補として経費の見積もりなどを提出している。9月に新潟県体育協会と新潟県教育庁保健体育課のヒアリングが行われた際には、他県の施設を借りて開催することも検討するよう指示され、福井県で開催する見積りを手配中である。（今井委員長）

(6) ジュニア委員会

現在までの活動はないが、年度内に「小学生クライミング体験会」を開催する予定である。新潟市江南区の登山用品店「好日山荘」で20人規模での開催を予定している。（小林委員長）

(7) 海外登山委員会

海外登山については説明済みなので、「弥彦たいまつ登山」について、今年は国体などの行事と重ななくて多くの県山協役員から出席してもらった。この行事は実務的には弥彦山岳会がやっているが、新潟県山岳協会が主催する行事であるので加盟団体への働きかけや支援体制の強化をお願いしたい。

（桐生委員長）

出席者からは、参加者の高齢化などから事故防止対策に協力すべきとの意見のほかに、開催日が平日であることから現役世代が参加するには困難なところがあるとの意見もあった。

(8) 会報編集委員会

4月6日に329号、6月3日に330号、8月12日に331号の新山協ニュースの発行をした。（遠藤委員長）

4 その他

少年男子の田中修太君が、ヨーロッパのユースAのリードで優勝した。新潟県体育協会の馬場会長を通じて知事への表敬訪問を実施したい。（森会長）

以上

予 告

創立70周年記念祝賀会のご案内

本会は、昭和22年6月28日、新潟県山岳会として発足しました。昭和29年7月に新潟県山岳協会に改称して今日を迎えてます。先人から引き継がれたこの70年の歴史に思いを馳せ、下記の通り祝賀会を開催いたします。

なお、祝賀会に先立ち、日本山岳・スポーツクライミング協会八木原圓明会長の講演会を予定しております。

多くの加盟団体の皆様のご参加を是非お願ひいたします。

記

1. 日 時 平成30年1月27日（土）午後1時～
2. 場 所 長岡市 ホテルニューオータニ長岡（長岡駅東口）



● 10月中旬、50年ぶりに新潟・福島県境の鬼ヶ面山を登つてきた。紅葉が良い頃と思つて登つたが、夏以降の天候不順が影響してか、彩は今いちでつた。
 ● 往時、国道252号線が開通していくなかつた。浅草岳から縦走して、吹峰から一本松沢沿いの林道を下つた。途中で工事のトラックに大白川駅まで乗せてもらひ、大いに助かつた記憶がある。
 ● 国道が開通し、750メートルの高さまで車で行くことができ、きれいに刈り払はれて、歩きやすい登山道に、山頂まで楽な山となつていた。

● 何故か山頂標識脇に缶ビールとチーズ2個があつた。飲んでくださいということなのか、浅草岳を往復して、帰りに飲もうと置いたのか、判断に迷い、そのまま置いてきた。熊に飲まれてしまつより、始末した方が良かつたかな！

（遠藤俊一記）

編集後記